

## ワークショップ型訓練の進め方

## 1. 実施目的

ガイドラインに記載する緊急時のアクションについて精査を図るとともに、それぞれのアクションを遂行するために必要となる情報（内容及び入手先・提供先）、活動資源（ヒト、資機材・設備、土地等）、関係する規制・許認可について確認します。

## 2. 実施方法

検討会メンバーの皆様にご覧いただき、オンラインでワークショップを開催します。事務局が進行を行い、その場で得られた意見を報告して、全員で成果を共有します。

ワークショップでは、事務局より深刻な被害が生じた旨、簡単に状況を付与しますので、その状況下で被災側空港／応援側空港でどのような行動を取るべきなのか、意見交換をお願いします。

先般のヒアリング調査で把握できた内容を、「ワークショップ型訓練ワークシート」にとりまとめています。この内容をご覧いただきながら、空欄部分を埋めていただいたり、不足点を指摘いただいたり、バージョンアップを図ってください。

訓練ではご発言いただく時間が足りないような場合は、訓練後に検討会で意見交換の時間を設けていますので、その場でご発言くださいますようお願いいたします。

また、訓練中に気づかれたことをお手元の「気づきシート」に記載いただき、会議終了後に事務局に提出をお願いします。

## 3. 進行スケジュール

	1班 被災空港班	2班 応援空港班
進め方の説明（5分）	進行から進め方を説明します	
ワークショップ型訓練 1 （15分） 初動期	テーマ：1-1 被災空港側における初動期のアクションと必要な情報等	テーマ：2-1 応援空港側における初動期のアクションと必要な情報等
ワークショップ型訓練 2 （15分） 応急対策期	テーマ：2-1 被災空港側における応急対策期のアクションと必要な情報等	テーマ：2-2 応援空港側における応急対策期のアクションと必要な情報等
振り返り（5分×2班）	進行から結果を報告します	

#### 4. 班分け

1班	<p>①株式会社 ANA Cargo 宮原委員 ②中部国際空港株式会社 奥田様（長坂委員代理）、田中様 ③日航関西エアカーゴ・システム株式会社 後藤委員 ④株式会社近鉄エクスプレス 佐伯委員 ⑤フェデラルエクスプレスジャパン合同会社 寺村委員 ⑥定期航空協会 森委員、内藤様 ⑦国土交通省航空局近畿圏・中部圏空港課 菊地企画調整官（代理）、（傍聴）岡田様、辻様 ⑧国土交通省航空局航空戦略室 （傍聴）稲又様、岩木様、山田様 （事務局：中尾、筒井、花野）</p>
2班	<p>①日本貨物航空株式会社 佐久間委員 ②日本航空株式会社 谷口委員・川平様 ③成田国際空港株式会社 宇野委員、國本様 ④国際空港上屋株式会社 中村委員、増永様 ⑤東京国際エアカーゴターミナル株式会社 柴崎委員、近藤様 ⑥日本通運株式会社 望月委員、滝川様 ⑦郵船ロジスティクス株式会社 工藤委員 ⑧DHL ジャパン株式会社 藤井様 ⑨一般社団法人日本航空貨物運送協会 宮内委員 ⑩国土交通省航空局首都圏空港課 成田国際空港企画室 （傍聴）西出様 ⑪国土交通省航空局首都圏空港課 東京国際空港企画室 忍海邊室長、柳澤様 （事務局：原田、平野、遠香）</p>

以 上